

(ご意見の概要)

・丹波篠山の黒大豆枝豆を生産し、梨の「稲城」、ぶどうの「高尾」に次ぐ第3のブランドにしてほしい。

・黒大豆枝豆の生産について、農業者による自己所有の農地での生産と休眠農地を活用するために公募による農作業に興味のある人と休眠農地や指導者のマッチングを行い、生産してもらうことにより、農業の担い手となる人材育成と新たな特産品を創出することは市外からの集客にも繋がり、観光面にもプラスになる。

(市の考え方)

本市では、梨とぶどうについては、そのブランド力を活かした安定した農業経営が展開されており、野菜については直売を中心に堅実な農業経営が行われています。

ご意見も踏まえつつ、遊休農地の活用、農業の担い手の育成も視野に入れ、新たなブランドとなるような農産物や品種について、農業者や関係機関等と連携しながら、新たな農産物ブランドの立上げについて研究し、農業振興に努めてまいります。